



特別職報酬等審議会の開催に至った理由と諮問内容について
「志政会」 小沼 富夫

Q 報酬等審議会の開催に至った理由と諮問内容について伺う。

A 【市長】 現在、社会経済情勢がめまぐるしく変化している。本市においても市政運営における極めて重要な転換期を迎えており、市政の両輪である議会、市政執行を担う特別職には重い責務が求められていると認識している。

このような状況を踏まえ、特別職の給料や議員報酬の水準がどうあるべきかという点を検証する



今後の小中学校施設の規模と配置の適正化について
「いせはら為成会」 長嶋 一樹

Q 児童生徒が減少していく中で、学校の施設の規模と配置の適正化について教育委員会の認識とその取り組みについて伺う。

A 【教育部長】 学校規模や配置の適正化は、児童生徒にとって望ましい教育環境を整え、教育水準の維持向上に不可欠な取り組みと考え、昨年度小中学校の望ましい学校規模等に関する基本方針を策定した。

本方針では、望ましい学校規模については学級数で、配置については通学距離と時間で基準を定



公園愛護会の持続可能な仕組みづくりについて
「いせはら為成会」 八島 満雄

Q 公園愛護会のこれまでの伝統や市民協働の精神を大切にしながら、次世代へつないでいくため、今後どのように持続可能な仕組みづくりに取り組んでいくのかを伺う。

A 【都市部長（兼）国県・企画調整担当部長】 本市の公園愛護会制度に対する支援は、平成28年度に報奨金支払制度を導入し、必要な物品が報奨金のい

ずれかの支給を選択いただいている。

さらに、令和元年度には団体への顕彰制度を導入したほか、市の広報やホームページを通じて広く公園愛護会の取り組みを紹介することで新たな仲間を増やすことにも注力している。公園愛護会



高齢者のデジタル見守り前進
「いせはら未来会議」 安藤 玄一

Q ICTを活用した見守り支援の取り組みが半年間で前進したが、その背景にはどのような検討やきっかけがあったのかを伺う。

A 【保健福祉部長】 高齢者福祉分野におけるICT活用の取り組みの背景については、昨年12月定例会の一般質問における安藤議員からの提案が一



多様性を認める包括的性教育を学校教育へ
「日本共産党」 川添 康大

Q 次期学習指導要領の改訂に際し、今年度始まった学校研究に、包括的な性教育の視点を明確に盛り込む考えはあるか。また、文部科学省の「はじめて規定」は禁止規定ではないという見解を踏まえ、発展的な指導に踏み出すよう各校へ働きかける考えがあるか伺う。

A 【学校教育担当部長】 今年度からスタートした学校研究は、新たな不登校を生まない学校づくりにつながるよう、全ての児童生徒の自己肯定感や意欲を培う学校風土の醸成、個々の可能性を引き出す柔軟な教育課程の編成、熟議の機会の設定などを目的としている。ま



異業種連携を戦略的に推進していく考えはあるのか
「進風会」 山田 昌紀

Q 今後、本市は異業種連携を福祉政策の重要な柱として位置づけ、戦略的に推進していく考えがあるのか伺う。

A 【市長】 今後は、さらなる人口減少や福祉分野における人材不足が見込まれ、行政と福祉関係機関のみでさまざまな福祉課題に対処することは難しいと考える。個々の成功事例を積み上げ、ま



「防災機能を有する道の駅」整備の戦略的実効性について
「公明党いせはら」 今野 康敏

Q 防災機能を有する道の駅設置の必要性、広域的な防災上の意義について市長の見解を伺う。

A 【市長】 道の駅は、道路利用者の休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の3つの機能を基本とし、災害時には防災機能を発現する施設としての役割を担っていると認識している。

本市は道の駅設置実現に向けて基本構想の策定に着手したところであるが、激甚化、頻発化する大雨や大地震の災害発生



ふるさと納税の新たな加工品開発について
「志政会」 夢田 巖

Q ジビエを活用したふるさと納税の返礼品として、新たな加工品開発等により、ふるさと納税拡大につながるかと考えるが、本市の考えを伺う。

A 【企画部長】 ふるさと納税返礼品のジビエの活用については、事業者から鹿革製の財布や名刺入れのほか、ポーチやサコッシュを提供いただいている。また、食品では、鹿肉を使用したレトルトカレーのほか、宿泊の際に猪鍋を提供いただいている旅館もある。鹿肉や猪肉などのジビエにつ

